

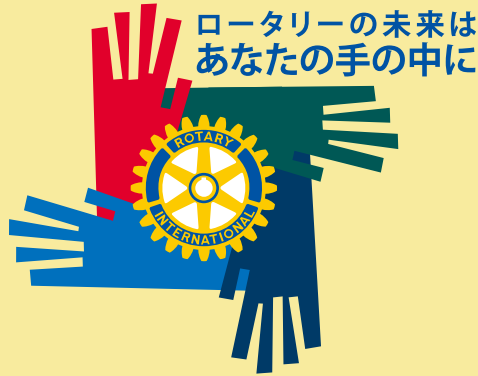


神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2009-2010年度 R I 会長 ジョン・ケニー



2009-2010年度 第2590地区ガバナー 野坂 定

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| ● 会長 | 河野 明光 | ● 会長エレクト | 横山 範夫 |
| ● 副会長 | 古川陽太郎 | ● 副会長 | 石川 正三 |
| ● 幹事 | 山田正憲 | ● 副幹事 | 飯田 泰之 |
| ● 会計 | 朝日達夫 | ● 副会計 | 田口健太郎 |
| ● S A A | 月山 勇 | ● 副 S A A | 伊澤 政宏 |
| ● 副 S A A | 矢野 修二 | ● クラブ会報 | 森 永 健 |

●クラブテーマ「信頼」●



事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2009-2010年度 第26号週報 No. 1632 2010年(平成22年) 1月8日 第1632回例会記録 1月15日発行

司 会 飯田 泰之 副幹事

誕生日祝

石川 正三 会員 (1月13日)
古川陽太郎 会員 (1月13日)
竹山 洋 会員 (1月13日)

点 鐘 河野 明光 会長

斉 唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 伊東 英紀 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

ゲスト紹介

2009学年度米山奨学生 曹 莹 様

ビジター紹介

川崎 R C 布野 雅一 様
葉山 R C 山口健次郎 様



本日〈1月15日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「我等の生業」
- ◆ 献 立 幕の内弁当
- ◆ 卓 話 「笑う楽しさ 笑わせる楽しさ」
桂 歌助 様
(紹介者 月山 勇 会員)

結婚記念日祝

飯田 昇 会員 (1月7日)
河野 明光 会員 (1月11日)
友添 辰哉 会員 (1月11日)



特別行事

米山奨学金贈呈 曹 莹 様



新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願い致します。

私のことですが、大学院生になり、早くも10ヶ月が経ちました。

学業において、最初の正念場を迎え、博士前期課程の中間発表がよいよ明日です。資料の準備がほぼ出来ましたが、大勢の先生、学生の前で話せるかどうかすごく心配です。けれども、河野会長、皆様のおかげで、例会出席日に簡単な近況報告をさせて頂き、緊張しながらも皆様の前で話すことが出来たと思ひ、明日の発表に対して「すごく心配」から「ちょっと心配」になりました。

いろんな意味で、神奈川東ロータリークラブの皆様への感謝の気持ちがいっぱいです。本当にありがとうございます。

会長報告

河野 明光 会長

昨年、12月26日に開催されました「年忘れ家族会」に多くの会員とご家族がご出席下さり、誠にありがとうございました。

また、何ヶ月も前より計画しご準備頂きました、植田委員長率いる親睦の皆さんご苦勞様でございました。植田委員長らしい細かな配慮と仕掛けが随所に見られました。それと、何より感謝申し上げ

たいのは、お花、ドーナツ、ピアニストのお手配等々、家族会を盛り上げたいとご協力下さいました会員各位にこの場をお借りし感謝申し上げます。

残り半期、微力ではありますが一生懸命努めますので、前期同様のご支援を賜れます様、宜しくお願い致します。

幹事報告

山田 正憲 幹事

・本日、例会終了後に1月度定例理事会がございます。

場所 5F ジョイス

- ・IM実行委員会からIMのアンケート依頼が来ております。アンケート用紙を本日各ボックスへ配布致しました。例会終了迄に、事務局へ提出願います。ご協力よろしくお願い致します。
- ・イタリアへ留学中の国際親善奨学生 石田美緒さんからクリスマスカード、米山学友の張蕾さんから新年のご挨拶のカードが届いておりますので回覧します。
- ・年賀状が届いておりますので回覧します。
- ・今月のロータリーレートは先月同様1\$=90円です。
- ・横浜東RAC1月第1例会の案内が来ておりますので回覧します。

◎例会変更のお知らせ

*横浜港北ロータリークラブ

平成22年2月11日(木) 祝日休会

2月25日(木) 夜間例会 点鐘18:30

委員会報告

雑誌委員会 委員長 竹山 洋

縦組みP2～P6 「低炭素社会の日本」から

地球はCO₂があるから快適な気温で過ごすことが出来ています。ですが、CO₂が増えすぎれば気温が上がり自然が壊れていきます。その為、今、私たちは低炭素社会になるように努力しなくてはなりません。基本は人を大切にする街づくり、歩いて暮らせる様な町になることです。また、低炭素社会はビジネスチャンスでもあるとしています。いずれにしても、政治、社会システム、家庭などでやらなければいけないことがたくさんあるはずで、50年先の自然が壊れない為に。

横組みP6～P13

「ポール・ハリスの合理的ロータリアニズム」

横組みP19～P21

「ロータリーの未来はあなたの手のの中に」が載っており、ロータリーのことがわかりやすく出ていますので、ご一読下さい。

横組みP28～P29

「ポリオ撲滅」では世界のユニークなアイデアでの資金集めの方法が載っています。



出席報告

茂木 知子 委員長

会員総数	60名	(49+11)名	
出席会員数	48名	(40+8)名	
出席率	84.21%		
ゲスト	1名	ビジター	3名
前回補正後	92.98%	前々回補正後	89.66%

スマイルボックス

月山 勇 SAA

川崎RC 布野雅一様

新年、おめでとうございます。

石川正三君 お祝いありがとうございます。来週で“崑の字”になります。今後ともヨロシク・・・。

古川陽太郎君 新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。誕生祝いをありがとうございました。小池先生、暮れにはありがとうございました。

竹山 洋君 明けましておめでとうございます。誕生日プレゼント、ありがとうございます。

友添辰哉君 新年そうそう、結婚祝いありがとうございます。

河野明光君 皆様、明けましておめでとうございます。残り半期を微力ではありますが一生懸命努めますので、前期同様のご支援を賜れます様、よろしくお願い致します。

富居利貞君 新年明けましておめでとうございます。

山木幹夫君 おめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

岩澤利雄君 おめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

鴻 義久君 明けましておめでとうございます。

山本 登君 今年も、遅刻、早退しながら頑張ります。

山田正憲君 明けましておめでとうございます。皆様、6月迄はロータリー活動に目一杯ご協力下さい。7月以降はぼちぼちと・・・というわけにはいかないか。

山田富雄君 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

大西弘文君 新年明けましておめでとうございます。友好クラブを結んでいるルーヤンロータリークラブのあるボルネオ島のコタキナバルへ行って来ました。世界最大の花、ラフレシアやオラウータンの餌付けを見たり、また、サワラク州グヌムル国立公園にある世界最大の洞窟探検などをして年末年始を過ぎて来ました。あっという間の一週間でした。

伊東英紀君 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

渡邊 淳君 年頭にあたり、皆様のご健勝とクラブの和やかな繁栄をお祈りします。

西山 潔君 明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

横山範夫君 明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。本年もよろしくお願い致します。

川邊正男君 明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとって良い年であります様に。今年もよろしくお願い致します。

植田清司君 ①皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。②暮れの“家族会”には多くの会員の皆様のご参加ありがとうございました。

長井 章君 本年もよろしくお願い致します。今年こそ少しは痩せようと思います。

須永久一君 皆様、明けましておめでとうございます。素晴らしい年になります様にお祈りします。

天野公史君 新年明けましておめでとうございます。(笑)の多い年にしたいです。

横溝 亘君 皆様、本年もよろしくお願い致します。

脇田いずさん 新年明けましておめでとうございます。ご指導の程、よろしくお願い致します。頑張っておぼろと思っています。

茂木知子さん 少子化？孫もいないのでお年玉の費用が年々少くなります。一昔前はうんざりするほど多額だったのに。

矢野修二君 本年も皆様にとりまして、良い年になります様にお祈り申し上げます。本日、都合により早退致します。

伊澤政宏君 新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

月山 勇君 新年明けましておめでとうございます。本年もスマイルも含め、よろしくお願い申し上げます。

1月8日	29件	101,000円
本年度累計		1,417,874円

卓 話**「新年挨拶」****◆会長 河野 明光**

皆さん明けましておめでとうございます。

早いもので本日は2010年の幕開けとなる例会です。

昨年は政権交代が実現し、国内の景気回復や制度改革への期待も大いに高まりましたが、事業仕分に於ける公共事業や税制等の見直しが影響してか、雇用環境は依然として改善は見られず、あちらこちらで政策の迷走を憂慮する声も上がり始めています。

しかし、昨年の政権交代こそ、「変わらなくてはいけない。」と国民が信念を持って声を挙げた結果であると申せます。ならば、今暫くは静観を決めて理解に努め、時に協力も必要でありましょう。

時代の変化期は往々にして「変えてはいけないもの」と「変えなくてはいけないもの」の真偽の判断を求められるようです。クラブに目を落とし、同様の判断を求めるなら「変わらなくてはいけないもの」の一つや二つ、何処のクラブも抱えていると思われま

す。私たちは時に、恒例として行われている行動があたかも伝統を受け継いでいるかの如く受け入れ、誰もその行動の真偽を確かめることもなく継承されている事など無いでしょうか。当然のように継続されている活動形態やそれに伴う諸経費は、時代背景に対応した活動であり経費であるのか、時に検証する事も肝要であると考えています。同様に、魅力あるクラブを安定運営する上で会員増強の努力を怠る事など出来ません。「運営経費の再考と会員増強」は表裏一体、車の両輪であると申せます。

このような厳しい経済環境下ではありますが、会員増強の重要性を再認識して頂き、是非とも地域で活躍され、人として魅力ある方の情報を数多くご提供頂き、一人でも多く会員として迎え入れる努力こそ、安定したクラブ運営に不可欠であると確信致しております。

総括的な挨拶に終始してしまいましたが、本日より年度後期へ向かうにあたり、山田幹事の差し出す杖を頼りに、微力ではありますが一生懸命努めて参りますので前期同様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

今年度が会員とご家族の皆様には幸多からん事を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

◆副会長 古川陽太郎



新年、明けましておめでとうございます。

早いもので、河野・山田正憲年度も半分を過ぎ、残す所はあと6ヶ月となりました。昨年7月、新年度を迎えるに当たって、河野会長はクラブテーマとして「信頼」を掲げられました。

信頼の「信」は「人+言」で、一度言明した事を途中で屈する事無く、最後まで押し通す人間の行為を表し、信頼の「頼」はご存じの如く頼る事でもあります。

ロータリークラブに入会された皆さんは、同じ「志」を持った同志ですから、お互いロータリアンとして、自分に社会的・道義的責

任をしっかり持っていなければなりませんし、持つべきだと思います。その基盤の上に立った者同士が、お互いに信じ合い、頼ったり、頼られたりしながら、途中で屈する事無く「信頼」を皆で築き上げて行くべきでしょう。

さて、「人の噂も75日」とか、「去る者は日々に疎し」とか申しますが、私達は過去の悲しい事例をしっかり分析・理解する必要があると思います。そして、そこから得られる貴重な教訓をしっかり踏まえて、お互いの足場を固め、「信頼」の元に集まった「同志」が更なる飛躍が出来る様に努力して行きたいと思っております。

勿論、「信頼」の構築とは一朝一夕で成し遂げられるものではありません。クラブのロータリアン同士が、時間を掛けて、お互いに切磋琢磨しながら、築き上げて行くものですから、河野年度のあとの6ヶ月と云わずに半ば永遠の課題として、この「信頼」の構築に努力して行きたいと思っております。

坊さんの説教じみた話になってしまいましたが、本年も宜敷く御高誼の程、お願い申し上げます。

◆副会長 石川 正三



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

年間の主な行事もほとんど無事済みまして、クラブとしては残る半年間、会員増強を図ること、執行部としては会員の方々が皆元気でクラブライフを楽しく過ごせるようなより良い雰囲気を作ることが課題・・・と思っております。

初春ですので、クラブにも関係のある、ある方の“今年の夢”をご披露します。OWOP協会鈴木一男会長の話です。

家族会の時にご報告をしたように、豪雨の続くスリランカでクラブの4本の井戸の引き渡し式に立ち会われて、年末に帰国されました。

大晦日にお会いした時に新しい計画を伺いました。現地にある8つの国立大学の農学部などと提携して、山村の学校に乳牛を贈って育て、貧しくて栄養失調の多い山村の学童たちに『毎日牛乳を飲ませよう』、うまく乳牛を増やすことが出来ればヨーグルトやチーズなどの酪農製品を作って山村の活性化にも寄与しよう・・・という計画です。実はこの計画、既に試験的に進められていて、北部にあるラジャラット大学の健康増進学部（日本にはない学部です）と連携し、大学近くの山村の学校に乳牛と子牛を贈って学童や家族が牛の世話をしています。

1年半経った現在では、牛が3頭に増え、毎日搾られる6リッターの牛乳を50人の学童が飲むようになってきているそうです。

私はこの計画にクラブが参加することを提案する為にこの話をしている訳ではありません。鈴木会長は昨年8月に傘寿を迎えて今年81歳です。その長老が目を輝かせて、『今年から本格的にこの計画に取り組み、今後5年間でスリランカ各地の山村に広げたい』と熱っぽく語る、その姿勢に私は深い感銘を受けたからです。御歳81歳にしてこのような発想、その情熱、意欲がどのようにして湧き出てくるのか、驚きました。新年に当たって、それぞれが自分に置き換えて明日への活力を如何にして築いて行けば良いのか、考えてみては……。そんな思いで鈴木会長の“今年の夢”をあえてご披露しました。

・・・今年もよろしくお願ひ致します。

◆幹事 山田 正憲



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は諸先輩方をはじめ会員の皆様には大変お世話になり、心より御礼申し上げます。河野会長のご指導と皆様のご協力のおかげで、何とか半年間を過ごすことが出来ました。

振り返ってみると、年度当初は会員始め、会員のご家族の方の不幸が多く心を痛めた会員も大勢いたのではないかと思います。これは会員同士が力を合わせクラブが一つにまとまる機会を、亡くなられた方々が作ってくれたのではないかと思います。

また、経済状況の変化もあり、いつになく多くの退会者が出ましたが、小山市康会員と佐藤勝彦会員の入会はクラブに明るく元気な雰囲気をもたらしてくれました。10月になると、地区大会記念チャリティーゴルフ大会で加藤仁昭会員が5位、田中龍太郎会員が8位とすばらしい成績を上げ喜びを分かち合うことが出来ました。

事業では、10月の反町公園でのチャリティーバザーとガバナー公式訪問、11月の地区大会、12月の年忘れ家族会とあれこれ考える間もなく半年間が過ぎていきました。

そして、今年度から週報を作成する事務局の渡辺さんの苦労は相当なものと思いますが、大変すばらしい週報が出来上がり感謝しています。そのためにご尽力頂いた江森会員にも併せてお礼申し上げます。

理事会ではスムーズな運営と分かり易い議事録を心がけ議題提出

書の作成と議事録のボックスへの配布を行い、ある程度目標を達成出来るようになったと思います。

さらに、連絡もメールを多用することで無駄な時間を省くことが出来るようになりました。しかし、ホームページの利用率の低さなど、まだまだ改良点はあると思います。

下半期も神奈川RCとの合同賀詞交換会、IM、職場訪問、滬尾RCとの姉妹クラブ締結式、神奈川RC50周年記念式典など盛りだくさんです。これからは会員増強にもクラブを上げて取り組んでいきたいと思っています。

残り半年、クラブ運営に努力していきたいと思っていますので、会員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

◆会計 朝日 達夫



明けましておめでとうございます。

年頭のあいさつということで、明るいお話が出来ればよいのですが、ご存じの通り、我々スーパー業界も真冬の時代で、憂えを語るばかりなのが現状です。

消費者の購買意欲も極めて低く、厳しい年末年始となりました。

「必要なものを必要な時に必要な量だけ購入する」まさに無駄のない行動様式が今の消費者心理の柱であり、多くの企業や政府も同様に、経費節減・質素節約に重きをおき、少ない収入のなか、必要かつ最低限の有効投資を主眼としております。

ロータリークラブの運営もまさに例にもれず、いかに価値ある行動・活動をするかが問われており、会長の舵取りのもと、会計という職責から、そのような運営の下支えが出来るよう努力して参る所存です。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

クラブニュース

ワンワールド・ワンピープル協会 鈴木一男さんからメールと写真が届きましたので紹介します。

新年あけましておめでとうございます。

今回、完成式の流れを追った写真を送ります。いつも、どのような

式を行っているのか、ご理解頂けるかと思います。

(神奈川県ロータリークラブ支援No. 35井戸) -キャンディ県

古都キャンディから西北に車で1時間半ほど、結構な山坂を越えた山間の緑濃い、Godakele (ゴダケレ) 村です。

この地域にはロータリー支援の井戸が結構多くあります。1年前の1月にも近くの村に2ヶ所ほどオープンしました。

村の総所帯は311。この井戸は24所帯、119名が利用します。このうち、1～5歳の幼児は13名です。ここは山間にしては、珍しく大きく開けており、田圃が脇に広がっています。村の主な収入は米作りの他、スパイスの栽培と農作業や公共事業などでの日雇い労働、1所帯あたりの平均月収は5,000から6,000ルピー位との事です。基本的な食料は自分で栽培しているのでしょうか。現在100ルピーが90円位の交換レートです。



初汲みのお水を汲んでポットに溢れるように入れた後、子供達が近所の家に運びました。



断続的に小雨が降る中、まずは慣例に従って、井戸のすぐ脇にヤシの葉を使って作られたオイルランプに点火します。スリランカでは戸外と室内を問わず、どんな場合でもこの点火から儀式が始まります。



小雨が降る中、お坊さんがお経をあげます。集落の人は皆手を合わせて聞き入ります。



オイルランプに点火後、お水の涸れない事を願って、仏にささげる白い花卉を皆で井戸に投げ込みます。



井戸を囲んで記念撮影。

(続きは次号にて)

次回《1月22日》の卓話予定
テーマ「尽くす心と器量」
国際空手道連盟極真会館 師範 成田武治 様
(紹介者 天野 公史 会員)